

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	健康づくりと介護予防の推進
-------------	----------------------

現状と課題

- (1) 健康づくり・生活習慣病予防の推進
- (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- (3) 社会参加の促進
- (4) 生涯学習の推進
- (5) 雇用・就労対策の推進

第9期における具体的な取組

- (1) 健康づくり意識の醸成、生活習慣病予防の推進、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
- (2) 介護予防・生活支援サービス事業、一般介護予防事業
- (3) 地域における世代間交流の促進、福祉活動への参加の促進、ふれあいサロン活動支援、老人クラブ・通いの場等の地域活動の運営支援、日常生活におけるデジタル活用の促進
- (4) 多様なニーズへの対応、生涯スポーツの推進、生涯学習情報のネットワーク化
- (5) シルバー人材センターへの運営支援

目標（事業内容、指標等）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
やわた未来いきいき健幸プロジェクト参加者数(人)	5,000	5,000	5,000
健幸アンバサダー養成事業の養成者数(人)	750	850	950
元気アップ体操教室延参加者数(人)	4,000	4,500	5,000
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数(件)	370	380	390
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のポピュレーションアプローチ延支援件数(件)	650	700	750
訪問型サービスB延利用回数(回)	180	200	220
通所型サービスB延利用回数(人)	340	360	380
通所型サービスC延参加者数(人)	1,060	1,070	1,080
介護支援サポーター登録者数(人)	105	110	115
通所リハビリテーション(短時間(1時間以上2時間未満))算定件数(件)	2,020	2,040	2,060

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う。

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

項目	令和6年度	令和7年度
やわた未来いきいき健康プロジェクト参加者数(人)	4,903	5,131
健康アンバサダー養成事業の養成者数(人)	620	636
元気アップ体操教室延参加者数(人)	3,583	3,693
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数(件)	541	562
高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のポピュレーションアプローチ延支援件数(件)	834	981
訪問型サービスB延利用回数(回)	90	104
通所型サービスB延参加者数(人)	325	225
通所型サービスC延参加者数(人)	1,296	1,568
介護支援サポーター登録者数(人)	100	98
通所リハビリテーション(短時間(1時間以上2時間未満))算定件数(件)	1,935	2,002

自己評価結果

- ・ やわた未来いきいき健康プロジェクト参加者数は増加し、目標値を達成した。
- ・ 健康アンバサダー養成事業による養成者数は636人と一定数に達しており、既存のアンバサダーを中心とした健康づくり意識の醸成に取り組む。
- ・ 元気アップ体操教室延参加者数は、目標値には達していないものの延参加者数は徐々に増加している。引き続き参加促進に取り組む。
- ・ 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施のハイリスクアプローチ延支援件数、ポピュレーションアプローチ延支援件数ともに目標値を達成できた。
- ・ 通所型サービスB事業参加者数は、1事業所の実績としては令和6年度から減少しているが、サービスを提供する場や開催回数を拡充し、市内全域の事業参加者総数としては増加した。
- ・ 通所型サービスC延参加者数は、令和6年度より3クールから4クールに回数を増回したことや送迎を開始したこと等、事業内容を見直したことにより増加した。

課題と対応策

- ・ 健康づくり事業は参加者の固定化や担い手不足といった課題はあるものの、住民の中に健康意識を根付かせる一助となっている。更なる参加拡大策として、広報紙やSNS等を活用した周知の強化、参加者の口コミ、既存の教室のプログラム見直しやフォローアップ方法について検討する。
- ・ 健康長寿を延伸するためには、日頃からの健康づくり等介護予防を意識した取り組みが重要であるため、個人の健康に対する健康管理意識を育てるとともに、健康づくりやフレイル予防に関する正しい知識の普及啓発を継続して行う。
- ・ 通所型サービスBについて、地域により参加者数に差があるため、地域のニーズに合わせたサービスが提供できるよう検討を行う。
- ・ 通所型サービスCの参加人数の増加により、長期参加が難しく参加終了せざるを得ない方がいる。終了となった方への受け皿として、継続的に参加できる取り組みについて検討を行う。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	地域包括ケアの深化・推進
-------------	---------------------

現状と課題

- (1) 相談支援体制の強化・相談窓口の周知
- (2) 地域福祉ネットワーク活動の推進
- (3) 医療と介護の連携強化
- (4) 家族介護者への支援

第9期における具体的な取組

- (1) ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）の機能強化、介護支援専門員の相談機能の強化、地域ケア会議の推進、包括的・継続的ケアマネジメント事業、多職種の連携、相談窓口の連携、情報提供機能の充実、苦情処理体制の強化
- (2) 社会福祉協議会による地域福祉活動の充実、民生・児童委員活動の促進、福祉委員会活動の促進、多様な主体による助け合い・支え合い活動の推進
- (3) 医療と介護の連携、在宅療養に関する情報収集と情報提供
- (4) 家族介護者の交流、紙おむつ等助成、家族介護者慰労金助成、短期入所

目標（事業内容、指標等）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ほっとあんしんネット相談件数(件)	2,600	2,700	2,800
地域ケア会議開催回数(回)	25	25	25
多職種連携在宅療養支援協議会開催回数(回)	2	2	3

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

項目	令和6年度	令和7年度
ほっとあんしんネット相談件数(件)	2,548	2,191
地域ケア会議開催回数(回)	15	14
多職種連携在宅療養支援協議会開催回数(回)	2	2

自己評価結果

- ・ ほっとあんしんネット相談件数について、令和6年度と比較して権利擁護に関する内容や虐待に関する相談内容が減少した。また、令和7年度に中核機関が設置され、弁護士や司法書士、社会福祉士に相談できる体制が整備され、相談窓口が強化された。
- ・ 困難事例等を抱え込まないように、早期に地域ケア会議を開催し、専門性の資質向上に努めた。

課題と対応策

- ・ 65歳以上の夫婦のみ世帯及び65歳以上の単身世帯が増加しており、複合的な課題を抱えるケース対応が増加しているため、問題が複雑化する前に早期対応できるよう、ほっとあんしんネット（地域包括支援センター）の周知に努める。
- ・ 在宅で療養する高齢者が必要な時に安心してスムーズに適切な「医療」「介護」サービスが利用できるよう、引き続き研修会を実施し、資質向上と多職種連携強化の促進を図る。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	認知症施策の推進
-------------	-----------------

現状と課題

- (1) 認知症の予防・理解促進・支援の充実
- (2) 権利擁護の推進

第9期における具体的な取組

- (1) 認知症に関する知識の普及・啓発、認知症施策の推進、認知症高齢者及びその家族への支援、若い世代に対する福祉意識の醸成
- (2) 高齢者の権利擁護事業の推進

目標（事業内容、指標等）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認知症サポーター養成講座受講者数(人)	90	100	110
八幡市あんしんネットワーク協力機関登録数(カ所)	120	122	124
認知症高齢者等GPS端末利用料補助金利用者数(人)	5	5	5
オレンジカフェの参加者数(人)	225	230	240

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

項目	令和6年度	令和7年度
認知症サポーター養成講座受講者数(人)	98	43
八幡市あんしんネットワーク協力機関登録数(カ所)	117	117
認知症高齢者等 GPS 端末利用料補助金利用者数(人)	6	7
オレンジカフェの参加者数(人)	344	322

自己評価結果

- ・ 認知症サポーター養成講座修了者を対象に更なる認知症の理解促進のため、認知症サポーター養成講座ステップアップ講座を開催した。
- ・ 八幡市あんしんネットワーク協力機関に対して八幡市あんしんネットワーク報告会を開催し、本市の活動報告や声掛け訓練などを行った。
- ・ オレンジカフェについては、市内4カ所において月1回開催した。

課題と対応策

- ・ 認知症サポーター養成者数については、累計2,700人となった。認知症に対する正しい知識と理解促進のため、認知症サポーター養成講座の継続に加え、認知症サポーターステップアップ講座の受講に繋げ、チームオレンジの取り組みを推進する。
- ・ 地域住民のみならず、若い世代への認知症に関する理解の促進に努める。
- ・ 八幡市あんしんネットワーク事業登録の際に認知症高齢者等 GPS 端末利用について案内を行い、住み慣れた地域で安心した生活ができるよう支援を行う。
- ・ 引き続き、認知症に関する知識の普及啓発や早期発見、対応の仕組みづくりを行い、認知症初期集中支援チームの活動を行う。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	安心して暮らし続けられる生活環境の整備
-------------	----------------------------

現状と課題

- (1) 高齢者の住まい・住環境の整備
- (2) 生活支援サービスの推進
- (3) 防災・防犯・交通安全対策の推進
- (4) 災害や感染症にかかる体制整備
- (5) 高齢者虐待防止対策の推進

第9期における具体的な取組

- (1) 高齢者の住まいに関する情報提供、高齢者を支える地域づくりの推進、福祉のまちづくりの推進
- (2) 配食サービス、シルバーライフラインシステムの整備、日常生活用具給付等、軽度生活援助、寝具乾燥等サービス
- (3) 防災意識の啓発、防犯対策の推進、消費者啓発の推進と相談の充実、交通安全教室等の開催
- (4) 災害発生時の避難体制の整備、感染症対策に係る体制整備
- (5) 高齢者虐待に関する周知・啓発、高齢者虐待防止ネットワークの確立、被虐待者の保護

目標（事業内容、指標等）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
生活支援体制整備協議体の会議開催回数(回)	8	10	12
配食サービス利用者延人数(人)	440	470	500
シルバーライフラインシステム利用者数(人)	380	390	400

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

項 目	令和6年度	令和7年度
生活支援体制整備協議体の会議開催回数(回)	13	12
配食サービス利用者延人数(人)	447	384
シルバーライフラインシステム利用者数(人)	349	342

自己評価結果

- ・ 生活支援体制整備協議体の会議は定期的を開催し、地域のニーズや地域資源資料の作成、徘徊模擬訓練の開催等についての協議を実施した。
- ・ 配食サービス利用は民間事業所のサービスを利用されている方も一定数おられると考えている。
- ・ シルバーライフラインシステムについて、令和7年度よりモバイル型機器の貸与を開始し、民生委員に対して周知啓発を行った。

課題と対応策

- ・ 多様なサービスを充実させるために、生活支援体制整備事業の協議体を通して地域の担い手の発掘を促進する。
- ・ 各圏域の様々な機関や市民等に参加してもらい、地域のニーズにあった多様な生活支援サービスの継続的な検討が必要である。
- ・ 配食サービスについては、食糧の価格高騰や配達の職員の確保の困難さがあり、事業の継続も含め、検討が必要となっている。
- ・ シルバーライフラインシステムについて、広報紙や市ホームページ、SNS等を活用したサービスの周知を行い、必要な方にサービスを利用してもらえるように情報発信を行う。また、少子高齢化に伴い、緊急連絡先の確保等が困難になっているため、現状把握を行い、見直しの検討を行う。

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

タイトル	持続可能な介護保険制度の運営
-------------	-----------------------

現状と課題

- (1) 介護保険サービスの提供体制の充実
- (2) 介護サービスの質の向上と介護給付の適正化
- (3) 福祉・介護人材の確保・育成・定着支援
- (4) 業務効率化の取組の強化

第9期における具体的な取組

- (1) 介護サービス情報の提供、利用者・介護者への支援の充実
- (2) 介護支援専門員活動支援、要介護認定への取組、サービスに関する相談・苦情体制の強化、事業者への支援の充実
- (3) 福祉・介護人材の確保及び定着促進
- (4) 業務効率化の取組の強化

目標（事業内容、指標等）

項 目	令和6年度	令和7年度	令和8年度
認定調査状況チェック(件)	全件	全件	全件
ケアプラン点検件数(件)	25	25	25
住宅改修点検件数(写真確認)(件)	全件	全件	全件
住宅改修点検調査件数(件)	12	12	12
福祉用具貸与調査件数(件)	4	6	12

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ 目標指標と実績を比較して評価・分析を行う

取組と目標に対する自己評価シート（実績評価）

（市町村名：八幡市）

年度	令和7年度
----	-------

実施内容

項目	令和6年度	令和7年度
認定調査状況チェック(件)	コロナによる 職権更新を 除く全件	全件
介護・福祉職場就職フェア開催回数(回)	1	1
ケアプラン点検件数(件)	26	28
住宅改修点検件数(写真確認)(件)	全件	全件
住宅改修点検調査件数(件)	8	11
福祉用具貸与調査件数(件)	0	0

自己評価結果

- ・ 介護・福祉職場就職フェアを開催したが、令和7年度は参加者が減少した。
- ・ 令和7年度より、住宅改修調査については実地調査に加え、ケアプラン点検の際に併せて書面上で調査を行う形を採った。

課題と対応策

- ・ 介護・福祉職場就職フェアについて、開催時期や開催方法について見直しを行い、周知啓発に努める。
- ・ 介護人材不足が続いているため、広報紙や市ホームページを活用した介護現場の魅力発信について、事業所と協力しながら取り組む。
- ・ 引き続き、適切な介護サービスを提供するため、ケアプラン点検や住宅改修・福祉用具点検調査等を行う。